

研究課題番号	1-2101
研究課題名	世界全域を対象とした技術・経済・社会的な実現可能性を考慮した脱炭素社会への道筋に関する研究
研究実施期間	令和3年度～令和5年度
研究機関名	京都大学
研究代表者名	藤森 真一郎

1. 委員の指摘及び提言概要

カーボンニュートラルに向けて、シナリオ A、B、C が説得力のある形で示され、1.5℃安定化に向けた実現可能性を考慮した脱炭素社会のシナリオ分析を実施している点は高く評価する。IPCC への貢献や論文発表で十分に成果を挙げており、ライフスタイル変革、革新技术の導入や環境政策について具体的な記述があることから、国際的・国内的政策へのインプットとして期待できる。ステークホルダーグループとの関係では、消費生活や循環経済といった切り口での効果をどう見せるかという観点も重要である。本研究で提案されているシナリオは脱炭素の視点からなされているが、他の重要な社会的要請、例えば、生物多様性保全、地域循環共生圏にも資するよう、統合的に考えて頂くことを期待する

2. 採点結果

評価ランク：S